

# 桶川市 防災ガイド



| 行政     | 市役所 泉1-3-28 ☎048-786-3211  |
|--------|--|
| 消防     | 埼玉県中央消防本部 北1-25-23 ☎048-773-1190<br>桶川消防署<br>埼玉県中央消防本部 下日出谷528 ☎048-788-0119<br>桶川西分署  |
| 警察     | 上尾警察署桶川駅前交番 南1-1-1 ☎048-771-1114<br>上尾警察署坂田交番 坂田1503-7 ☎048-728-4701<br>上尾警察署若宮交番 若宮1-4-24 ☎048-787-3895<br>上尾警察署川田谷駐在所 川田谷2817-11 ☎048-787-0010 |
| 救急告示病院 | 埼玉県中央病院 坂田1726 ☎048-776-0022   |

## わが家の防災メモ

避難場所

集合場所

## 非常用持ち出し品・備蓄品

災害の被害を最小限にとどめるために、最低限必要なものを改めて確認し、電気・ガス・水道などのライフラインが止まっても3日間程度（推奨7日間）は自力で生活できるように備えておきましょう。

| 非常用持ち出し品 | <ul style="list-style-type: none"> <li>非常食(カンパン、缶詰など)</li> <li>飲料水</li> <li>携帯ラジオ(予備の電池)</li> <li>懐中電灯(予備の電池・電球)</li> <li>スマートフォン/バッテリー</li> <li>ヘルメット(防災ずきん)</li> <li>ライター(マッチ)</li> <li>ナイフ、缶切り、栓抜き</li> <li>ティッシュ</li> <li>タオル</li> </ul> | 備蓄品 | <ul style="list-style-type: none"> <li>食料(缶詰、レトルト食品、ドライフード、栄養補助食品など)</li> <li>食料(調味料、スープ、みそ汁など)</li> <li>食料(チョコレート、のどめ、梅干など)</li> <li>水(1人当たり1日3ℓ)</li> <li>燃料(卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど)</li> <li>毛布、タオルケット、寝袋など</li> <li>洗面用具(歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど)</li> <li>鍋、やかん</li> </ul> |
|----------|--|-----|--|
|----------|--|-----|--|

◆家庭環境によっては、上記のもの以外にも用意しなければならない場合があります。  
 ◆乳幼児がいる家庭の場合……ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつ、清浄綿、おんぶ紐、オストオマルまたはペーパー毛布、ガーゼなど  
 ◆妊婦がいる家庭の場合……脱脂綿、ガーゼ、サラン、T字帯、清浄綿、新生児用品、ビニール風呂敷、母子手帳、新聞紙、石けんなど  
 ◆要介護者がいる家庭の場合……着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具などの予備、常備薬、お薬手帳など

## 防災情報の入手

- ◆インターネット利用
- 桶川市ホームページ(防災) [https://www.city.okegawa.lg.jp/krushih/anshin\\_anzen/bousai/index.html](https://www.city.okegawa.lg.jp/krushih/anshin_anzen/bousai/index.html)
  - 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
  - 国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
  - 荒川上流河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/araio/>
  - 利根川上流河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>

◆メール配信サービス

【登録方法】①空メールを送信します。→②登録用アドレス記載のメールが返信されてきます。→③登録用アドレスにアクセスします。→④サイトの指示に従って登録したら完了です。

| 配信情報   | 埼玉県防災情報メール   | 桶川市防災情報メール                                   |
|--|--|--|
| 気象警報注意報、地震情報、電停注意情報、土砂災害警報情報、洪水予報、高温注意情報、避難情報、避難所等情報、危機管理情報、埼玉県からのお知らせ | 桶川市において発令された各種気象警報、桶川市の地震情報(震度4以上)、防災行政無線の放送内容(建物火災情報は除く)、国民保護情報、不審者情報など |  |
| 空メール送信先  | saitamaken@jijo.bosai.info   | okegawa-city_subscribe@jam2.oshirase-plus.jp |

# 地震ハザードマップ

## 揺れやすさマップ

地震ハザードマップは、本市に大きな影響を及ぼすと考えられる地震を想定し、揺れやすさ(震度)及び液状化の可能性を予測したものです。この地震ハザードマップを参考として、お住まい地域の状況をご確認いただき、日頃からの備えに役立ててください。

想定地震 埼玉県が想定した5地震8パターン(茨城南部地震、東京北部地震、元禄型関東地震、関東平野北西線断層地震(北、中、南)、立川断層帯地震(北、南))による結果を重ね合わせた最大値をもとに作成しました。(平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査より)

最大震度

桶川市

1:25,000

1:1,000,000

## 避難場所一覧

避難場所…災害発生時に身の安全を確保するため、緊急的に避難する場所です。避難所…災害時などで、家に戻れない場合に避難生活を送る施設です。

| 地区    | 番号 | 名称                  | 避難所 所在地    | 電話番号(048) | 備考       |
|-------|----|---------------------|------------|-----------|----------|
| 桶川北地区 | ①  | 桶川小学校               | 西1-4-27    | 771-1259  | 地区内活動拠点校 |
|       | ②  | 桶川東小学校              | 坂田西1-7-1   | 728-3886  | 地区内活動拠点校 |
|       | ③  | 桶川東中学校              | 末広3-19-28  | 728-4461  |          |
|       | ④  | 老人福祉センター(総合福祉センター内) | 末広2-8-29   | 728-1122  | 福祉避難所    |
| 桶川西地区 | ⑤  | 桶川西小学校              | 下日出谷836-1  | 786-3760  | 地区内活動拠点校 |
|       | ⑥  | 桶川中学校               | 泉1-5-10    | 787-1311  |          |
|       | ⑦  | 保健センター              | 鶴川11-4-1   | 786-1855  | 福祉避難所    |
|       | ⑧  | 桶川サン・アリーナ           | 下日出谷西2-4-1 | 787-5111  |          |
|       | ⑨  | 加納小学校               | 坂田883      | 728-3533  | 地区内活動拠点校 |
|       | ⑩  | 加納中学校               | 加納1279     | 728-3061  |          |
|       | ⑪  | 県立桶川高等学校            | 坂田945      | 728-4421  |          |
|       | ⑫  | 加納公民館               | 坂田982-5    | 728-1040  |          |
| 加納地区  |    |                     | 若宮1-5-9    |           | 一時滞在施設   |
|       |    |                     | 坂田2-3-1    | 776-9106  |          |

## 液状化可能性マップ

この液状化可能性マップは、それぞれの地域の地形・地盤の特性を考慮して、各地点の揺れの大きさに基づいた液状化の可能性を評価し、取りまとめたものです。一般的に軟らかい砂層がある地盤は液状化しやすいです。なお、このマップで表示した液状化可能性は、得られた地盤情報に基づく予測値であり、実際には人工造成地などで局所的に発生することもあるため、液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

1:35,000

# 地震発生時の行動

## 自宅にいる場合

**揺れを感じたら**

**安全確保行動!!**

地震の揺れから身を守る  
「3つの安全行動(シェイクアウト)」

**Drop! Cover! Hold on!**

揺れ方によっては机の下などにくもらないこともあります。

「その瞬間」にできる最大限の安全策をとりましょう。  
震度1弱の地震では大半の人が恐怖を感じ、これ以上の震度になれば、身の安全を図ろうとしても、揺れによる足元のふらつきや恐怖による身体の硬直などで、平常時のような動作が行えない可能性があります。  
また、揺れが起きた状況(階段の昇降中など)や、子どもや高齢者など足腰の弱い人は、震度が小さくても思わぬ怪我をすることがあります。

※上イラスト提供：国家的な防災訓練と防災啓発推進会議

**強い揺れの時間は20秒~1分間程度**

※強い揺れの継続時間は、阪神・淡路大震災では15秒程度、東日本大震災では長く続いた場所で190秒程度とされています。

## 外出先の場合

| 状況        | 揺れを感じたら   | 揺れがおさまったら  |
|-----------|---|--|
| 道路・路地     | <ul style="list-style-type: none"> <li>倒れる危険性のあるものから離れる</li> <li>落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>広い公園や耐震性の高いビルの中に避難する</li> </ul>   |
| 繁華街 大きな建物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>商品棚から離れ、柱や壁際に身を寄せる</li> <li>落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗では場内放送や係員の指示に従う</li> <li>最新のビルは耐震性が高いので、あわてて外には出ない</li> </ul>                           |
| 地下街       | <ul style="list-style-type: none"> <li>倒れる危険性のあるものから離れる</li> <li>柱や壁際に身を寄せる</li> <li>照明等の落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>館内放送や係員の指示に従い、一つの非常口に出る</li> <li>エレベーターは、非常用照明がつくのを待つ</li> <li>火災が発生しなければ比較的安全</li> </ul> |
| エレベーター内   | <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての階のボタンを押し、停止した階ですぐに降りる</li> <li>自動的に最寄階に停止し、扉が開いたらすぐに降りる</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>閉じ込められた場合は、インターホンで通報し、救助を待つ</li> <li>停電しても、すぐに非常用照明が点灯するのであてない</li> </ul>                 |
| 運転中       | <ul style="list-style-type: none"> <li>状況により、震度4くらいから揺れを感じる人も</li> <li>徐々にスピードを落として、道路の左側に停車</li> <li>エンジンが止まっても車で案内に留まる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難するときは、車のキーをつけたまま、ドアをロックせずに窓を閉める</li> </ul>  |
| 電車・バス     | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急停車・急ブレーキに備える</li> <li>座席に座っている場合は、低い姿勢をとり、頭を保護する</li> <li>立っている場合は、つり革や手すりをしっかり握る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>停車後は、乗務員の指示に従う</li> <li>車内から勝手には出ない</li> </ul>  |

# 地震発生時 避難の注意点

あらかじめ避難場所や避難経路を確認しておき、家族や近所の人たちと声を掛け合い、安全に避難をしましょう。

- ご近所と声をかけ合いましよう  
地震などにより、避難の必要がある時は、ご近所の人たちと声をかけ合い、速やかに避難してください。
- 電気やガスの元栓を締めましよう  
避難の際には電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締めましょう。電気やガスが復旧した際に、火出する危険性があります。電話の受話器も戻しておきましょう。
- 初期消火に協力を  
天井に燃え移る前の火が小さい初期段階であれば、周囲の人に大声で知らせて協力し、初期消火機材や風呂の残り湯なども利用して消火できます。
- 要配慮者への支援を  
高齢者や体に不自由のある方、地震で怪我をされた方は、災害時に避難行動や生活などで困難な状況に置かれることが多いので、周囲の方々は積極的に支援・協力してください。
- 安否情報を伝えましよう  
家族や親戚等に、公衆電話やFAXなどで、安否や避難先を伝えましょう。NTTの災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話の災害用伝言板サービスも利用できます。

◆避難生活では助け合いましよう  
避難生活が数日間やそれ以上続くような場合には、避難所では大勢の方との共同生活、自宅での在宅避難でも日常とは異なる生活を送ることになります。避難所の生活ではルールを守って協力し合い、在宅避難の場合でも、近所の方々と助け合うように心がけましょう。

◆避難生活における配慮

- 高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、難病の方などは体調が悪くならないように、スペースの確保・室温調整などに配慮しましょう。
- 外国人の方々はわかりやすい情報提供が必要です。
- 女性の方々は、更衣室・授乳室・トイレなど特別なプライバシーへの配慮が必要です。
- 子どもには、のびやかな生活が送れなくなることからくるストレスに注意する必要があります。
- ペットを連れて避難する方は、避難所の受入れ条件や生活ルールに従い、エサや排泄物などの世話は飼い主の責任です。